

「半田市地域福祉計画」  
市民対面アンケート調査報告書

平成21年10月

# 目 次

I	調査の概要	2
1	調査の目的	
2	調査対象	
3	調査方法	
II	対面アンケート調査結果	3
1	調査場所と人数について	3
2	調査結果の全容について	4
	（1）わたしのまちのいいところについて	
	（2）身近で困っていることについて	
3	対象者別の結果	6
	（1）高齢者	
	（2）子ども	
	（3）こどもの親	
	（4）障がい者	

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

半田市地域福祉計画の策定にあたり、地域福祉の核となる地域住民の身近なニーズを直接伺うことで「地域住民の身近な思い」を把握し、効果的に計画に反映させることを目的としています。

## 2 調査対象

高齢者、子ども、子どもの親、障がい者

## 3 調査方法

サロンや学校、施設などに調査員が出向き対面アンケートを実施しました。  
(調査場所については3ページ参照) アンケートの内容は、

- ①わたしのまちのいいところ
- ②身近で困っていること

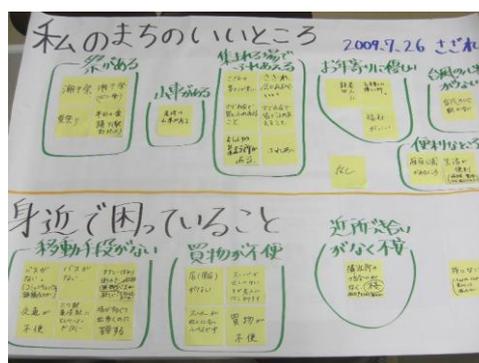
の2点です。

小学校と子どもミーティングではワークショップ形式で行い、

- ①10年後こんな半田だったらいいな
- ②わたしにできること

についても調査しました。

調査方法は、ポストイットに質問に対する意見を記入し、B紙に貼り付けキーワードごとに分類していきました。



## Ⅱ 対面アンケート調査結果

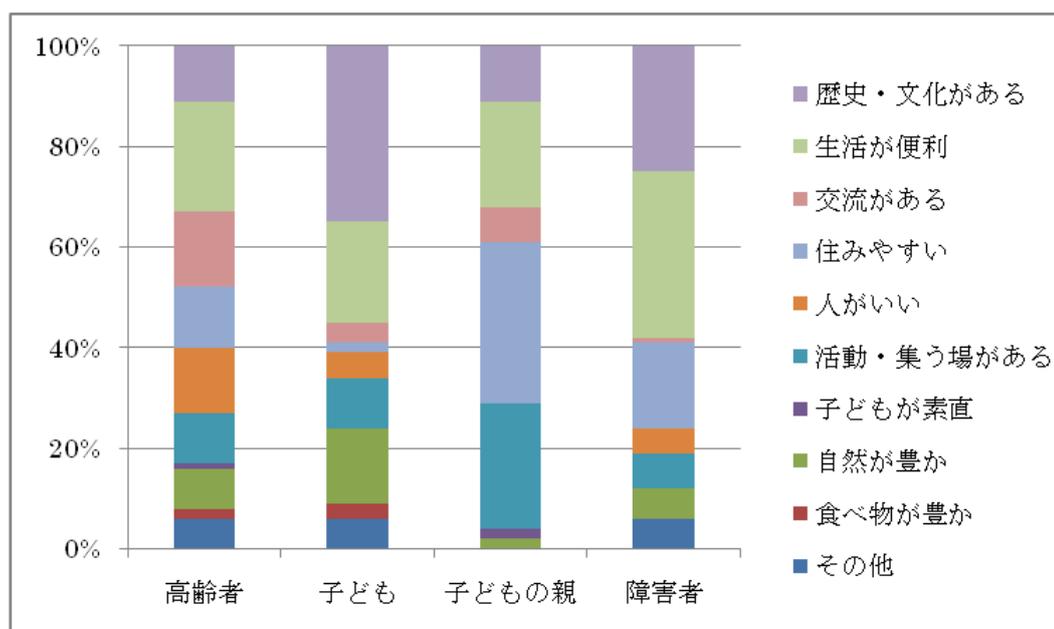
### 1 調査場所と人数について

対象	調査場所		人数(名)	
高齢者	ふれあい会食会	岩滑ふれあい会食会	61	
		乙川ふれあい会食会	77	
		上半田ふれあい会食会	57	
		下半田ふれあい会食会	51	
		協和ふれあい会食会	22	
		成岩ふれあい会食会	78	
	ふれあい施設	さくらの家	12	
		岩滑ふれあいセンター	4	
		フレンド乙川	4	
		亀崎福祉センター	20	
	高齢者サロン	和楽会	7	
		さざれ	30	
		おいでん	6	
	小計			429
	子ども	小学校	成岩小学校	100
子どもミーティング		クラシティはんだ	36	
小計			136	
子どもの親	子育てサロン	ひまわり	11	
		ほっとる一む	15	
		ぴよんぴよん村	3	
		わくわく・フレンズ	18	
		さくらファミリー	1	
		わいわいフレンド	18	
小計			66	
障がい者	障がい者福祉施設(身体)	きずなの会	19	
	障がい者福祉施設(身体・知的・精神)	ひまわり	25	
	障がい者福祉施設(知的・精神)	つみき福祉工房	6	
	障がい者福祉施設(精神)	カジュアルハウス	19	
	障がい者福祉施設(精神)	一ノ草病院デイケア	41	
小計			110	
合計			741	

## 2 調査結果の全容について

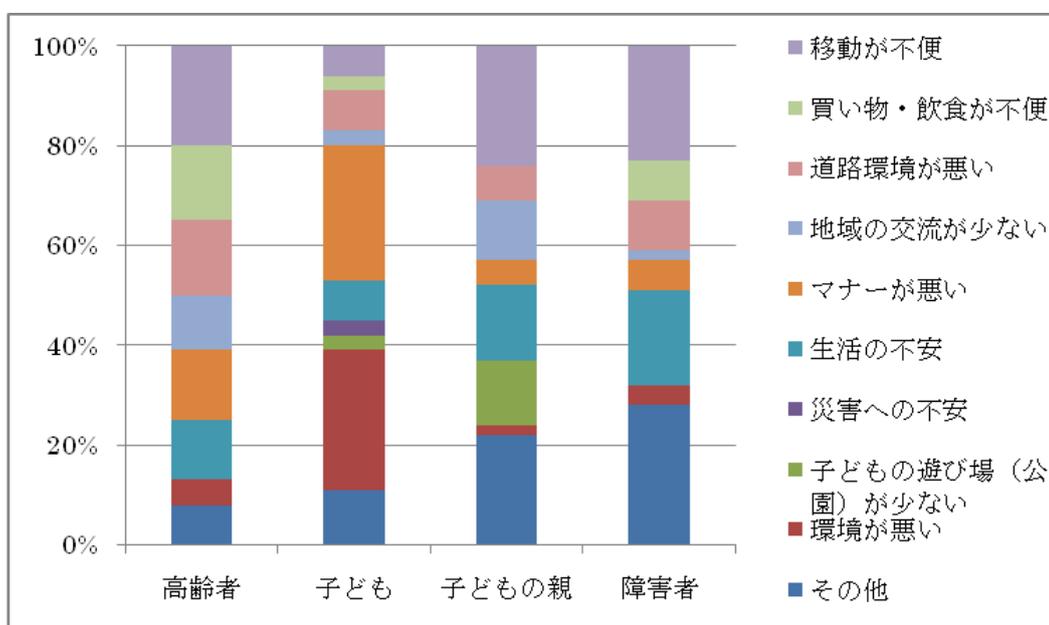
### (1) わたしのまちのいいところについて

項目	高齢者	子ども	子どもの親	障害者
歴史・文化がある	11%	① 35%	11%	② 25%
生活が便利	① 22%	② 20%	21%	① 33%
交流がある	② 15%	4%	7%	1%
住みやすい	12%	2%	① 32%	17%
人がいい	13%	5%	0%	5%
活動・集う場がある	10%	10%	② 25%	7%
子どもが素直	1%	0%	2%	0%
自然が豊か	8%	15%	2%	6%
食べ物が豊か	2%	3%	0%	0%
その他	6%	6%	0%	6%
計	100%	100%	100%	100%
調査人数	429名	136名	66名	110名



(2) 身近で困っていることについて

項目	高齢者	子ども	子どもの親	障害者
移動が不便	① 20%	6%	① 24%	① 23%
買い物・飲食が不便	② 15%	3%	0%	8%
道路環境が悪い	② 15%	8%	7%	10%
地域の交流が少ない	11%	3%	12%	2%
マナーが悪い	14%	② 27%	5%	6%
生活の不安	12%	8%	② 15%	② 19%
災害への不安	0%	3%	0%	0%
子どもの遊び場（公園）が少ない	0%	3%	13%	0%
環境が悪い	5%	① 28%	2%	4%
その他	8%	11%	22%	28%
計	100%	100%	100%	100%
調査人数	429名	136名	66名	110名



### 3 対象者別の結果

#### (1) 高齢者

ふれあい会食会6箇所、ふれあい施設4箇所、高齢者サロン3箇所で開催を行いました。ふれあい会食会は65歳以上の独居高齢者を対象とした会食会です。

わたしのまちのいいところでは、「生活が便利」の割合が22%と最も高くなっています。この結果には地域差が見られ、すべての地域において当てはまる結果ではありませんが、総合するとこのような結果になったと考えられます。

身近で困ったことでは、「移動が不便」「買い物・飲食が不便」の割合が高くなっています。家から歩いて行ける距離にお店がなくなったことで、遠くまで買い物に行かなければならなくなったり、そのための移動手段がなく困っているという意見が多くありました。

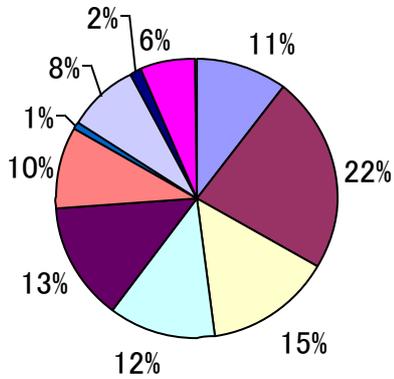


【わたしたちのまちのいいところ】

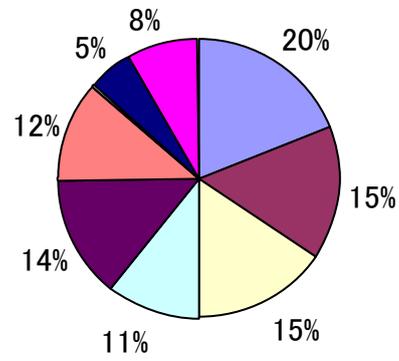
歴史・文化がある	11%
生活が便利	22%
交流がある	15%
住みやすい	12%
人がいい	13%
活動・集う場がある	10%
子どもが素直	1%
自然が豊か	8%
食べ物が豊か	2%
その他	6%
計	100%
調査人数	429名

【身近で困っていること】

移動が不便	20%
買い物・飲食が不便	15%
道路環境が悪い	15%
地域の交流が少ない	11%
マナーが悪い	14%
生活の不安	12%
災害への不安	0%
子どもの遊び場（公園）が少ない	0%
環境が悪い	5%
その他	8%
計	100%
調査人数	429名



- 歴史・文化がある
- 生活が便利
- 交流がある
- 住みやすい
- 人がいい
- 活動・集う場がある
- 子どもが素直
- 自然が豊か
- 食べ物が豊か
- その他



- 移動が不便
- 買い物・飲食が不便
- 道路環境が悪い
- 地域の交流が少ない
- マナーが悪い
- 生活の不安
- 災害への不安
- 子どもの遊び場(公園)が少ない
- 環境が悪い
- その他

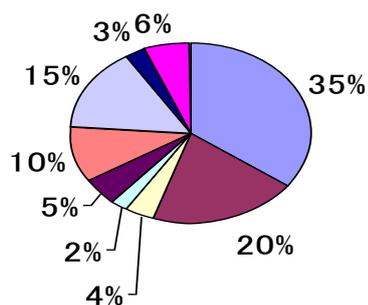
## (2) 子ども

成岩小学校 4 年生と地域福祉計画策定事業の子どもミーティングで調査を行いました。

わたしのまちのいいところでは、「歴史・文化がある」が 35%で最も高く、身近で困っていることでは、「環境が悪い」「マナーが悪い」が高い割合を占めています。学校のなかで学んだことについて考えている様子が伺える結果となりました。

【わたしたちのまちのいいところ】

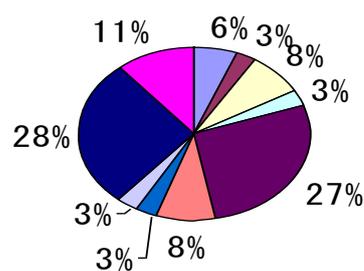
歴史・文化がある	35%
生活が便利	20%
交流がある	4%
住みやすい	2%
人がいい	5%
活動・集う場がある	10%
子どもが素直	0%
自然が豊か	15%
食べ物が豊か	3%
その他	6%
計	100%
調査人数	136 名



- 歴史・文化がある
- 生活が便利
- 交流がある
- 住みやすい
- 人がいい
- 活動・集う場がある
- 子どもが素直
- 自然が豊か
- 食べ物が豊か
- その他

【身近で困っていること】

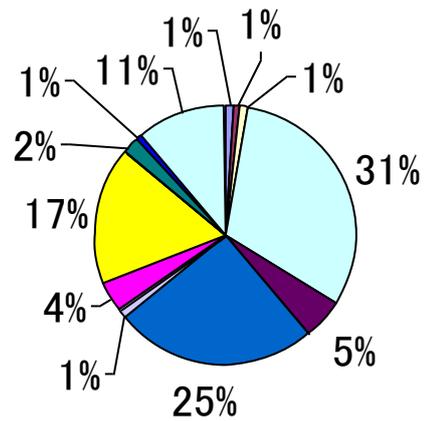
移動が不便	6%
買い物・飲食が不便	3%
道路環境が悪い	8%
地域の交流が少ない	3%
マナーが悪い	27%
生活の不安	8%
災害への不安	3%
子どもの遊び場（公園）が少ない	3%
環境が悪い	28%
その他	11%
計	100%
調査人数	136 名



- 移動が不便
- 買い物・飲食が不便
- 道路環境が悪い
- 地域の交流が少ない
- マナーが悪い
- 生活の不安
- 災害への不安
- 子どもの遊び場（公園）が少ない
- 環境が悪い
- その他

【10年後こうなったらいいな】

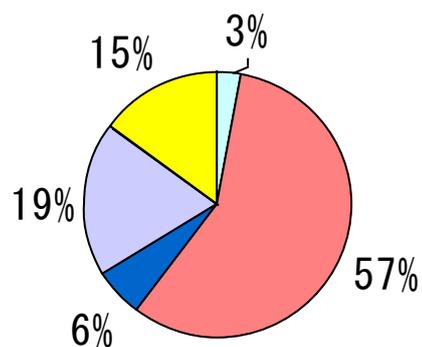
自分のまちが好きなまち	1%
歴史・文化が残るまち	1%
元気なまち	1%
すみやすいまち	31%
安心して歩けるまち	5%
子育て・子育てできるまち	0%
地域の人と仲良しなまち	25%
地域で助け合えるまち	1%
活動・交流する場所があるまち	0%
事故・犯罪のないまち	4%
自然豊かなまち	17%
学び・遊べるまち	0%
役割のあるまち	0%
交通整備ができていますまち	0%
お年寄りに優しいまち	2%
福祉（教育）の充実したまち	1%
今と変わらぬまち	0%
その他	11%
計	100%
調査人数	136名



- 自分のまちが好きなまち
- 歴史・文化が残るまち
- 元気なまち
- 安心して歩けるまち
- 子育て・子育てできるまち
- 地域の人と仲良しなまち
- 地域で助け合えるまち
- 活動・交流する場所があるまち
- 事故・犯罪のないまち
- 自然豊かなまち
- 学び・遊べるまち
- 役割のあるまち
- 交通整備ができていますまち
- お年寄りに優しいまち
- 福祉(教育)の充実したまち
- 今と変わらぬまち
- その他

【わたしにできること】

お手伝い・ボランティア活動	0%
活動に参加・続ける	0%
特技を活かした活動	0%
あいさつ・声かけ	3%
話し合う	0%
意識をもって行動	57%
近所と仲良くする	6%
自然を守る	19%
次世代育成	0%
健康でいる	0%
その他	15%
計	100%
調査人数	136名



- お手伝い・ボランティア活動
- 活動に参加・続ける
- 特技を活かした活動
- あいさつ・声かけ
- 話し合う
- 意識をもって行動
- 近所と仲良くする
- 自然を守る
- 次世代育成
- 健康でいる
- その他

### (3) 子どもの親

子育てサロン6箇所で子育てをしているお母さんに話を伺いました。

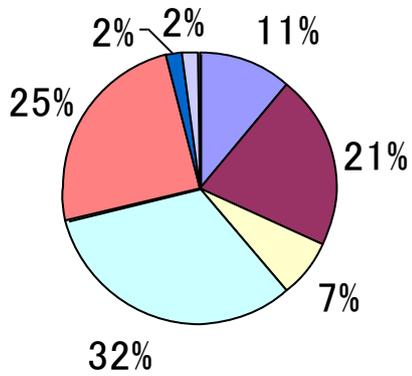
わたしのまちのいいところでは「住みやすい」「生活が便利」という意見が多い一方で、身近で困っていることとして「移動が不便」という意見が24%でした。車で移動するには困らないが、公共交通機関を利用する際にベビーカーと一緒に通りにくいという意見が多くありました。また、22%を占める「その他」として、子育て総合支援センターはんだっこを利用する際の駐車料金が負担になっているという意見が大多数でした。子どもも親も安心して遊ばせられる場所が必要だという声が多くありました。

#### 【わたしたちのまちのいいところ】

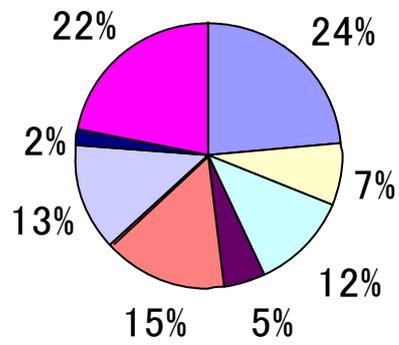
歴史・文化がある	11%
生活が便利	21%
交流がある	7%
住みやすい	32%
人がいい	0%
活動・集う場がある	25%
子どもが素直	2%
自然が豊か	2%
食べ物が豊か	0%
その他	0%
計	100%
調査人数	66名

#### 【身近で困っていること】

移動が不便	24%
買い物・飲食が不便	0%
道路環境が悪い	7%
地域の交流が少ない	12%
マナーが悪い	5%
生活の不安	15%
災害への不安	0%
子どもの遊び場（公園）が少ない	13%
環境が悪い	2%
その他	22%
計	100%
調査人数	66名



- 歴史・文化がある
- 生活が便利
- 交流がある
- 住みやすい
- 人がいい
- 活動・集う場がある
- 子どもが素直
- 自然が豊か
- 食べ物が豊か
- その他



- 移動が不便
- 買物・飲食が不便
- 道路環境が悪い
- 地域交流が少ない
- マナーが悪い
- 生活の不安
- 災害への不安
- 子どもの遊び場(公園)が少ない
- 環境が悪い
- その他

#### (4) 障がい者

障がい者福祉施設 5 箇所で行いました。

わたしのまちのいいところでは、「生活が便利」が 33%と最も高い一方で、身近で困っていることでは「移動が不便」が 23%と高くなっています。これは障がい福祉施設のある場所がそれぞれ異なっていることで、差が出たと考えられます。また、「その他」が 28%と最も高い割合となりました。意見として、まわりからの理解が不足しているという声が多く挙げられました。

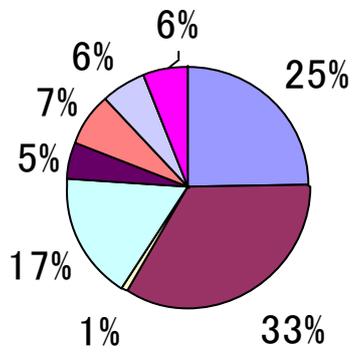


#### 【わたしたちのまちのいいところ】

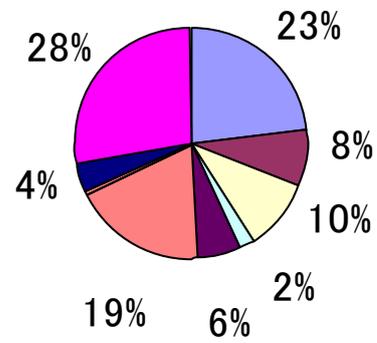
歴史・文化がある	25%
生活が便利	33%
交流がある	1%
住みやすい	17%
人がいい	5%
活動・集う場がある	7%
子どもが素直	0%
自然が豊か	6%
食べ物が豊か	0%
その他	6%
計	100%
調査人数	110 名

#### 【身近で困っていること】

移動が不便	23%
買い物・飲食が不便	8%
道路環境が悪い	10%
地域の交流が少ない	2%
マナーが悪い	6%
生活の不安	19%
災害への不安	0%
子どもの遊び場（公園）が少ない	0%
環境が悪い	4%
その他	28%
計	100%
調査人数	110 名



- 歴史・文化がある
- 生活が便利
- 交流がある
- 住みやすい
- 人がいい
- 活動・集う場がある
- 子どもが素直
- 自然が豊か
- 食べ物が豊か
- その他



- 移動が不便
- 買物・飲食が不便
- 道路環境が悪い
- 地域の交流が少ない
- マナーが悪い
- 生活の不安
- 災害への不安
- 子どもの遊び場(公園)が少ない
- 環境が悪い
- その他

